

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 株式会社 リロ・ホールディング
 コード番号 8876 URL <http://www.relo.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

(氏名) 土屋 真
 (氏名) 門田 康

TEL 03-5312-8704

(百万円未満切捨)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	21,802	—	848	—	816	—	401	—
20年3月期第1四半期	19,210	16.0	902	23.9	910	26.0	465	52.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	26.50	—
20年3月期第1四半期	30.79	30.47

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	27,934	12,228	12,228	43.7	804.48	
20年3月期	28,240	12,488	12,488	44.1	821.29	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 12,194百万円 20年3月期 12,449百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	34.00	34.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	44,000	13.3	2,050	6.5	2,050	4.5	1,100	41.2	72.57
通期	90,000	13.2	4,500	10.7	4,500	11.4	2,400	14.2	158.33

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 15,158,720株 20年3月期 15,158,720株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 360株 20年3月期 360株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 15,158,360株 20年3月期第1四半期 15,133,353株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間においては、米国サブプライムローン問題から波及した世界的な金融不安に収束が見えず、原油をはじめとする資源価格の高騰など、企業業績と個人消費に影響をおよぼす外部環境が続いたことから、経済の不透明感が拡大しました。

このような環境下、当社グループの連結業績においては、法人向けの福利厚生アウトソーシングサービスが堅調に推移した一方で、リゾート事業においては個人消費低迷の影響を受けたことなどから、営業収益218億2百万円(前年同期比13.5%増)、経常利益8億16百万円(同10.3%減)、四半期純利益4億1百万円(同13.8%減)となりました。

セグメント毎の業績は以下のとおりであります。

①リロケーション事業

当事業は、当社グループの創業事業である転勤者の留守宅管理サービス「リロケーションサービス」をはじめとして、企業福利厚生の住宅分野における様々なアウトソーシングサービスを提供しております。主なサービスとしては、物件検索等の転居支援サービス「リロネット」、借上社宅管理業務のフルアウトソーシングサービス「リライアンス」、海外赴任業務支援サービス「海外赴任n a v i」、24時間緊急工事対応サービス「住まいるレンジャーRELO24」等があります。これらは全て企業や従業員の様々なニーズに応えるべく事業化してきたサービスです。

当第1四半期連結会計期間におきましては、寮や社宅の借上げニーズが全般的に堅調で、管理・運営といった業務のアウトソーシングが伸張いたしました。このような環境下、特に「リライアンス」において新規顧客の獲得と管理戸数の積み増しが進んだことなどから、営業収益187億26百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益5億3百万円(同16.6%増)となりました。

②福利厚生代行サービス事業

当事業は、顧客企業の従業員の皆様にレジャー・ライフサポート等の福利厚生制度を提供する「福利厚生倶楽部」と、提携企業の会員組織に対し、ロイヤルティ・プログラムを提供する「クラブオフ」を運営しております。

「福利厚生倶楽部」においては、地方公共団体の新規入会などもあり、会員数が順調に増加いたしました。また、「クラブオフ」事業においても、地銀連合との提携をはじめとして新規顧客を獲得できました。これらの結果、営業収益20億31百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益5億円(同0.2%増)となりました。

③リゾート事業

当事業は「使う分だけ別荘を所有する」をコンセプトとしたポイント制タイムシェアプログラム「ポイントバケーションリロ」を運営しております。

営業の基本体系の再構築に加えて、集客や販売手法においても多様化を行うなどの対策に取り組んでまいりましたが、外部環境の悪化をカバーするに至りませんでした。これらの結果、営業収益6億66百万円(前年同期比17.7%減)、営業利益70百万円(同72.0%減)となりました。

④その他の事業

当事業は主力事業に関連する事業分野として、主に金融保険事業で構成されております。

リロケーション事業セグメントにおける「リライアンス」の管理戸数の増加に伴い、同サービスに付帯する原状回復費用の保険化サービス「リロ補償」とその再保険収益が伸張したことなどから、営業収益3億79百万円(前年同期比39.0%増)、営業利益24百万円(前年同期は33百万円の営業損失)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は279億34百万円(前連結会計年度末比1.1%減)となり、また、負債合計は157億6百万円(同0.3%減)、純資産合計は122億28百万円(同2.1%減)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金および現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2億13百万円減少し、29億8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、5億37百万円となりました。税金等調整前四半期純利益8億15百万円を計上した一方で、法人税等を3億85百万円支出したことなどが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は1億22百万円となりました。有形固定資産の取得により77百万円、ソフトウェアの取得により53百万円を支出したことなどが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、5億60百万円となりました。短期借入金の返済に45百万円を、配当金として5億15百万円を支出したことなどが主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における業績は、ほぼ予定通りに推移していることから、平成20年5月15日発表「平成20年3月期決算短信」における第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計処理基準に関する事項の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価の変更方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益への影響はありません。

③ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告18号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる損益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,799,195	3,021,738
受取手形及び営業未収入金	2,564,863	3,467,163
有価証券	108,817	122,464
販売用不動産	625,109	801,292
貯蔵品	102,428	207,158
前渡金	4,820,088	4,628,052
その他	2,731,483	2,201,602
貸倒引当金	△15,531	△23,725
流動資産合計	13,736,453	14,425,746
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,731,035	3,687,606
減価償却累計額	△609,539	△553,897
建物(純額)	3,121,496	3,133,709
工具、器具及び備品	913,945	919,582
減価償却累計額	△655,003	△647,528
工具、器具及び備品(純額)	258,942	272,054
土地	1,042,754	1,061,097
建設仮勘定	1,550	12,488
その他	223,869	223,973
減価償却累計額	△39,401	△33,551
その他(純額)	184,467	190,422
有形固定資産合計	4,609,209	4,669,772
無形固定資産		
ソフトウェア	867,138	893,602
のれん	238,119	242,979
その他	24,136	24,556
無形固定資産合計	1,129,394	1,161,137
投資その他の資産		
投資有価証券	972,672	990,728
敷金及び保証金	6,247,050	5,760,302
その他	1,273,151	1,265,687
貸倒引当金	△33,504	△32,682
投資その他の資産合計	8,459,370	7,984,035
固定資産合計	14,197,974	13,814,946
資産合計	27,934,428	28,240,692

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,111,124	1,717,914
短期借入金	2,376,413	2,480,229
1年内返済予定の長期借入金	27,522	31,656
未払法人税等	134,149	374,711
前受金	6,442,536	5,975,618
賞与引当金	77,455	150,761
その他	1,791,422	1,197,472
流動負債合計	11,960,623	11,928,365
固定負債		
債務保証損失引当金	85,150	90,100
長期預り敷金	3,559,739	3,625,039
負ののれん	9,350	9,549
その他	91,454	99,613
固定負債合計	3,745,694	3,824,302
負債合計	15,706,318	15,752,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,561,293	2,561,293
資本剰余金	2,754,397	2,754,397
利益剰余金	7,451,257	7,564,966
自己株式	△1,152	△1,152
株主資本合計	12,765,796	12,879,505
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,316	10,574
土地再評価差額金	△426,143	△426,143
為替換算調整勘定	△157,351	△14,570
評価・換算差額等合計	△571,178	△430,139
少数株主持分	33,492	38,658
純資産合計	12,228,110	12,488,025
負債純資産合計	27,934,428	28,240,692

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業収益	
営業収益	21,802,904
営業費用	
営業費用	19,306,495
営業総利益	2,496,409
販売費及び一般管理費	1,647,906
営業利益	848,502
営業外収益	
受取利息	10,484
受取配当金	17,961
持分法による投資利益	1,348
その他	6,131
営業外収益合計	35,925
営業外費用	
支払利息	10,429
為替差損	51,406
その他	6,044
営業外費用合計	67,880
経常利益	816,547
特別利益	
債務保証損失引当金戻入額	4,950
貸倒引当金戻入額	7,897
その他	3,000
特別利益合計	15,847
特別損失	
投資有価証券評価損	16,779
その他	516
特別損失合計	17,295
税金等調整前四半期純利益	815,099
法人税、住民税及び事業税	331,516
法人税等調整額	84,949
法人税等合計	416,466
少数株主損失(△)	△3,041
四半期純利益	401,675

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	815,099
減価償却費	179,089
のれん償却額	4,660
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,812
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,306
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4,950
受取利息及び受取配当金	△28,388
支払利息	10,429
持分法による投資損益(△は益)	△1,348
有形固定資産除却損	516
投資有価証券評価損益(△は益)	16,779
売上債権の増減額(△は増加)	1,360,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	184,214
仕入債務の増減額(△は減少)	△790,301
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△486,747
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△65,299
その他	△208,758
小計	902,511
利息及び配当金の受取額	32,913
利息の支払額	△12,038
法人税等の支払額	△385,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	537,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	22,876
有形固定資産の取得による支出	△77,054
ソフトウェアの取得による支出	△53,445
その他	△15,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△45,348
配当金の支払額	△515,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560,732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,661
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213,313
現金及び現金同等物の期首残高	3,121,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908,012

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	リロケーション事業 (千円)	福利厚生代行サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
営業収益							
(1) 外部顧客に対する営業収益	18,726,096	2,031,660	666,067	379,080	21,802,904	—	21,802,904
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	150,417	16,640	—	30,079	197,138	△197,138	—
計	18,876,514	2,048,301	666,067	409,159	22,000,042	△197,138	21,802,904
営業利益	503,485	500,297	70,122	24,275	1,098,181	△249,678	848,502

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦の営業収益は、全セグメントの営業収益の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外営業収益

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額
I 営業収益	19,210
II 営業費用	16,540
営業総利益	2,670
III 販売費及び一般管理費	1,767
営業利益	902
IV 営業外収益	29
V 営業外費用	21
経常利益	910
VI 特別利益	—
VII 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	910
法人税及び法人税等調整額	444
少数株主損益	△0
四半期純利益	465

(2) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(百万円未満切捨)

	リロケーション事業	福利厚生代行サービス事業	リゾート事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益							
(1) 外部顧客に対する営業収益	16,156	1,972	809	272	19,210	—	19,210
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	110	10	—	26	147	△147	—
計	16,267	1,982	809	299	19,358	△147	19,210
営業費用	15,835	1,483	558	332	18,210	97	18,308
営業利益	431	499	250	△33	1,148	△245	902

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

本邦の営業収益は、全セグメントの営業収益の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外営業収益

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

海外営業収益は、連結営業収益の10%未満であるため、海外営業収益の記載を省略しております。